
●営業マンレポート●

★伊田明弘（いだ あきひろ）担当エリア：札幌市内、江別、岩見沢、空知方面★

【担当営業から】

入社5年目の伊田と申します。

初めての勤務地が北海道ということもあり、当初は不安もありましたが北海道の広い大地と周りの暖かい人達に支えられながら日々勉強させていただいております。

簡単にはございますが自己紹介をさせていただきますと、中学時代からテニス部に所属しており高校までテニス部で青春の日々を過ごしておりました。また、大学時代に始めた音楽活動（ジャズ演奏）を通じて多くの演奏家の方たちとセッションさせて頂き、貴重な経験をさせていただきました。北海道に赴任してからは、ウィンタースポーツに目覚めシーズンになると毎週のように山へ滑りに行っております。

まだ入社5年目で分からないことも沢山ありますが、一日でも早く一人前の営業マンとして認めていただける様、精一杯努力していきたいと思っております。

【お客様紹介】

栗山赤十字病院

住所：夕張郡栗山町朝日3-2

HP：<http://www.kuriyama.jrc.or.jp/>

今回ご紹介させていただきますのは、栗山赤十字病院様です。

2013年4月にAquilionCXL(64列)を導入して頂き、現在も順調に稼動しております。

CT装置以外にも、エコー、自動分析装置などご使用頂いております。



【病院正面】

【お客様インタビュー】

医療技術部放射線課課長 刀根様

医療技術部放射線課係長 片岸様

【AquilionCXL 導入経緯は？】

以前から東芝の16列CTを使用しておりましたが、管球交換が必要となり更新を検討。

また保険点数改定を見越し64列CTの導入が具体化したしました。

その際、東芝から新しいワークステーション（Vitrea）との組み合わせキャンペーンを提案して頂き非常に魅力的な提案だった為、導入を決定いたしました。

【前検査との検査内容の違いは？】

今回新しいCTを導入して新しい検査の試みとしては、大腸CTをサンプリング的に行いました。メリットとしては内視鏡が挿入困難な患者様に対して有効であると実感いたしました。また、消化器の先生はワークステーションに写し出された3D画像に非常に興味がある様子でしたので今後は、サンプリングに留まらず検査数を増やせればと思っております。

【実際に使ってみた印象は？】

16列CTからの更新ということもあり、撮影速度、処理速度ともに非常に速く感じました。

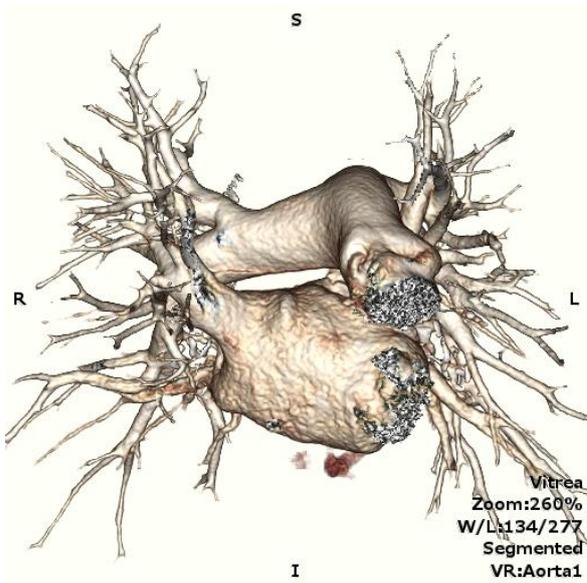
また、コロナル画像が非常に良くなり、診断に非常に有効的であると実感しております。

さらに、当院では高齢者の患者様を撮影する事が多く息止めが困難な患者様に対して、16列CTに比べて高速撮影及び広範囲の撮影が可能になったので、体動に強くなり今までは8割の患者さんで画像のブレが生じていましたが、64列CTにしてからは2割程度まで抑える事が出来るようになりました。

【Vitreaの良い点や今後求めること】

以前は、CT本体のワークステーションで3D作成を行っておりましたが、Vitreaを導入してからは3D画像のカラーの表現が非常に良くなりより詳細な所まで観察出来るようになりました。大腸CTの検査もワークステーションが導入されたことにより可能となった事だと思えます。また、2シリーズの画像の重ね合わせも出来るので、より診断に有効な画像の作成が出来るようになりました。

改善点といたしましては、3D画像の動作が鈍い時がありストレスを感じる事があります。また簡便に3D画像を作成できる点では良いのですが、全体的に細かい所で改善が必要な点が見られるので今後のフォローアップに期待します。



【Vitreaにて作成した肺動静脈の3D】

【ユーザー会へ一言】

東芝のCTを通じて皆様と情報を共有していけたらと思っております。
今後ともよろしくお願いいたします。



写真右 刀根課長

写真左 片岸係長